昭和37年9月20日生、平成23年4月 県議会議員初当選。平成27年4日 岡県立田川高等学校、日本大学

夢からはじまる http://www.kouzakis 食と緑を守る緑友会福岡県議団 平成29年1月号

よろしくお願いし 待に応えてまいりま れからも初心を忘れ 今後とも、ご指 皆さんの

なんだと積極的に取り組んでいま

9月定例会

12月定例会

ブログ報告

動画報告



フェースフ゛ック



フェースフ゛ック



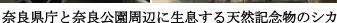
ツイッター



が出来てきまし の可能性を調査したり、 オカミの再導入」や最先端テクノロジー 建いありませんが、これが自分の ヒアリングさせて頂き、 子を掲載しています。 降に、質同のほぼ全文と知事答弁の骨 再生について」であります。 绪に山に登り、解決篆があるんじゃな りますが、高枝時代の恩師から現状 耶馬日田英彦山国定公園のブナ林 ・回、質问で取り上げまし 奈良県まで足を運び、「オ 県庁職員と 一つの質用であ 大変なのは同 次ページ 、たのは、

田川高校時代の恩師・熊谷信孝先生

らも頑張ってまいります。 で交涉しながら、しっかりと信頼関係酌み交わしながら、時には徴しい口調 も緊張感を持ちながら、時には酒 ひとつ解決につなげています。 の地元田川の皆さんに助けられ、 年の歳月が流れました。これまで多く 員の皆さんの理解と協力のお蔭で、 精一杯恩返しができるように、 す。万分の一の恩返しもできていない て頂き、感謝の言葉でいっぱいでありま 本会議場で質同が議員の本分だと思 現在54歳となり、 分に歯がゆい思いもしています 地域の声を反映できるように、 初めて選挙に立 行 部と





議

Ł

「英彦山のブナ林が危ない」〜現場の声を聞き、足を運び、

「田川地域のポテンシャルを活用した医療・福祉機器産業の振興



【英彦山の現状】ブナ林の衰退は、動植物のみ ならず、地域で暮らす私たちにとって、計り知

ては、蚤々ご清栄のこととお慶び申し

新年を迎えられ、皆様におかれま

自分の目で確かめます。

~次号で掲載します。

住・ひと・しごと対策調査特別委員、県土整備委員会・委員

議会運営委員会、理事兼委員



てしっかり取り組んで地域の予算獲得に向けこれからも地元田川 るものがネットでつなプロジェクト (あらゆ がる)の取り組みが、 表質問で地方版IoT 要望書として提出され して国に対して提言・ 福岡県の最重点項目と

273, 358千円 急傾斜地崩壞対策 150千円

道路災害防除費 30,300千円 800千円

会に所属してい 私は県土整備常任委員

し、342億6千万円した経済対策を実施を発入限活用の 余の補正予算が可決さ の会期で審議が行わ 3, 2, の主なものは、 事業費 (経済対策) れました。 12月1日に召集さ 地方創生の推進対応の強化 12月20日まで 安全・安心、

|月定例会

二月定

例

# 9月定例県議会一般質問

# ブナ林再生について 一. 耶馬日田英彦山国定公園の

⑩シカによる農林水産物の被害対策について. ⑨崩れた生態系の改善について. ⑧オオカミの再導入について.

が申倚窓です。 皆さん、こんにちは。緑友会福岡県議団神﨑県議】(ほぼ全文を掲載しています)

陳情がありました。 峰英彦山のブナ林が危ないとの地元からの くのも努力の一歩」であります。本県の霊 口に登るのは努力の一歩、人生をひら

当たりにしての質問であります。 とこで、母校県立田川高等学校時代の恩当たりにしての質問であります。 現地を目の は、家族を伴なって、英彦山に登ってきまして、家族を伴なって、英彦山に登ってきました。 知事も小中学生の時に英彦山登山をた。 知事も小中学生の時に英彦山登山をた。 知事も小中学生の時に英彦山登山をた。 知事も小中学生の時に英彦山登山を得課・福岡県保健環境研究所の協力を得力を得いたと聞いています。

入れて頂いております。 滅危惧種の植物の保護、保全活動に力を豊かな自然環境を守るため、英彦山の絶福岡県を代表する山であります。県では、冨山英彦山は日本三大修験道の一つで、

こなりました。

お尋ね致します。

、事のご答弁を受けて、農林水産部長に

自然の恩恵を受けています。 ケジュ 県のレッドデータブックでも保全対策が ⑤県3 県のレッドデータブックでも保全対策が ⑤県3 リースのアンドデータブックでも保全対策が ほす。 ため、 原生林としてのブナ林は多様な動植物が ます。 ため、 原生林としてのブナイは多様な動植物が ます。 ため、 原生林としてのブナイは多様な動植物が ます。 ため、 原生林としてのブナイは多様な動植物が ます。 ため、 の再生を目指した活動が行われています。 ため、 の再生を目指した活動が行われています。

す。

がいまして、ブナ林の衰退は、動植物のみ

がいまして、ブナ林の衰退は、動植物のみ

活動も拝見させて頂きました。で、森林(もり)を守る、県の地道な研究や況でありました。そして、職員の方の説明実態を見てきましたが、大変、危機的な状方と一緒に、ブナ林が衰退する英彦山のそこで知事にお尋ね致します。県職員の

再生するため、どのような財源が考えられ

②ブナ林は50年で花を付け、70年で充認識も含めてお尋ね致します。 状況や衰退の原因、その対策など知事の り最初に、英彦山のブナ林が荒廃している

②げナ林は50年で花を付け、70年で充②が大林は50年で花を付け、70年で充めたのかお尋ね致します。

お尋ね致します。地元やボランティアへの支援と連携について定公園のブナ林保全の取り組みにおいて、③併せて、本県として耶馬日田英彦山国

前向きなご答弁でした。きながら、今後のあり方を検討するとの、きながら、今後のあり方を検討するとの、関係団体、そして県議会、県民の意見を聞ついて質しましたところ、知事は、市町村、ついて質しましたところ、知事は、市町村、

ようになっているのかお尋ね致します。期間、使途の拡大に対して、継続後、どのないます。継続した他県では、税率や適用なから、隣県の大分県をはじめとして既にとから、隣県の大分県をはじめとして既にとから、隣県の大分県をはじめとして既にる森林環境税は、森林を巡る環境に対し

検討されていかれるのかお尋ね致します。 再導入する 大ジュールや議題ついて、どのような内容を 況を踏まら合われておられます。今後の同委員会のス み、土砂災実績や荒廃森林事業の効果調査など話し 食害によりため、森林環境税事業評価委員会があり 減とシカ、ため、森林環境税事業評価委員会があり 減とシカ、原民に明らかにし、その透明性を確保する 国的に獣いの見に明らかにし、その透明性を確保する 国的に獣いの見に明らかにし、その透明性を確保する 国的に獣いの見には、森林環境税による事業の内容を 一般社団の具では、森林環境税による事業の内容を 一般社団の

⑥そこで知事にお尋ね致します。ブナ林を対象となっており、英彦山のブナ林再生に業は荒廃したスギ・ヒノキ人工林の再生が業は荒廃したスギ・ヒノキ人工林の再生が本再生事業に取り組んでいますが、この事本県では森林環境税を活用して、荒廃森本県では森林環境税を活用して、荒廃森

します。 はどのように評価されているのかお尋ね致すが、他県のこのような取り組みを、知事すが、他県のこのような取り組みを、知事た事業を行っている県も多いと聞いていまのまた、森林環境税と国庫補助を併用しるのでしょうか。

を推進することをお願い致します。国と県が連携を図り、より一層森林整備題ではなく、国全体の問題でもあります。なっていますが、自然環境は各県だけの問森林環境税は各県レベルでの取り組みと

ム」が開催されるそうです。せ」と題して、 日・米・独オオカミフォーラ会館で 九州・英彦山にオオカミを取り戻会館で 担州・英彦山に私の地元、添田町民実は、10月23日に私の地元、添田町民

オオカミは怖い、人を襲うという話は、グリム童話にオオカミが出てくる話だそうり、一大で、それはヨーロッパが放牧を中心とした文で、それはヨーロッパが放牧を中心とした文で、それはヨーロッパが放牧を中心とした文で、それはヨーロッパが放牧を中心とした文で、それはヨーロッパが放牧を中心とした文で、音仰の対象でありました。オオカミは怖い、人を襲うという話は、グラ漢字はけものへんに良と書きます。

きょう。 きっぱいものへんに良と書きます。 では、かなり大きな課題があるように との対処法を知らない私たち日本人。現 が存在していた環境と比べると今の日本は が存在していた環境と比べるという点。麓 の住民の理解や登山や参拝者あるいは観 の住民の理解や登山や参拝者あるいは観 の住民の理解や登山や参拝者あるいは観 が存在していた環境と比べると今の日本は が存在していた環境と比べるとのり点。麓 であるの影響、さらには、百年前にオオカミの が存在していた環境と比べるとの日本は が存在していた環境と比べるとの日本は とこれば、外来種であるという点。麓 では、の対処法を知らない私たち日本人。現 とこれば、かなり大きな課題があるように といます。

なご所見をお持ちになり、調査研究に値は オオカミの再導入」に対して、どのようありませんので、よくわかりません。知事ありませんので、よくわかりません。知事のませんので、よくかかりませんがので、よくかかりませんが

ればならないと知事はお考えでしょうか。 れた生態系を改善するために何をしなけ 響を与えています。捕食者絶滅によって崩 えすぎ、その結果、自然環境に様々な悪影 者の絶滅により、生態系が崩れてシカが増 築されています。日本オオカミという捕食 という歳月の中で絶妙なバランスの上で構 ⑨また、自然の生態系と言うのは、数万年 大所高所からご意見をお聞かせ下さい。

を聞くことができました。 護という、それぞれの立場から興味深く話 害獣のシカの駆除と天然記念物のシカの保 部まちづくり推進局の奈良公園室に、有 庁の農林部の鳥獣対策と県土マネジメント してきたと言われています。そこで、奈良県 城に遷都した1300年前からシカと共存 天然記念物のシカであります。奈良では平 付けたのが、奈良公園周辺に生息する国の 一方、私がシカ対策の解決策として目を

り、適性頭数を維持し、ジビエを安定的に ますから、学習させない方法の確立も求め であります。シカは学習機能が発達してい をどうシステム化し構築するのかという事 握、群れごと捕獲するための誘導システム 思いました。問題は、生息域や個体数の把 提供していく取り組みを考えてはどうかと く。人間によって個体管理をすることによ 付けし、将来はシカによる観光地化してい 論から申しますと、英彦山に適した捕獲 方法と体制を考えた上で、野生のシカを餌 説明しますと長くなりますので、私の結

りがとうございました。



Tを活用した総合的な取り組みを推進し と思います。農林水産省や環境省でも、Ⅰ ているのは集中的に捕獲する高度な技術だ 活用の必要性を感じました。今、求められ ンや臭いセンサーなど最先端テクノロジー 見交換し、赤外線カメラを搭載したドロー 先日、IT業界の方々とこの件について意

き、内容のあるご答弁をお願い致しまし また、耶馬日田英彦山国定公園のように ますが、知事のご所見をお尋ね致します。 てシカ対策強化策を打ち出すべきだと考え 具体的対策を研究されているのでしょう て、私の一般質問を終わります。ご清聴あ を巻き込んでの質問であります。 くのか、併せてお答え下さい。 県境をまたいだ取り組みについて、 例えば か。国の支援を最大限活用して、本県とし 途を辿るシカに対して、県は、どのような 大分県との連携を今後どう取り組んでい 知事には、涙ぐましい努力をご理解頂 恩師と県執行部のご協力を頂き、家族 今回の質問は、これまでのどの質問より 体力と時間を要しました。

る。しかし、自然更新を図ることが困難な 有効な方法と考えている。このため、現在、場所もあることから、植樹もブナ林再生の の程度進むのかを確認することが必要であ 更新が図られることが望ましいため、まず ②英彦山のブナ林は自然林であり、自然 県保健環境研究所において、植樹を実施 シカの食害を減らすことで、自然更新がど 樹後必要になる管理の手法等について研究 すべき場所の把握や生育に必要な条件、植 は、現在行っているシカの捕獲事業によって

助言を行っている。今後、県保健環境研究 の植樹には、県保健環境研究所の職員が ③英彦山では、地元住民や複数のボラン 携してブナ林再生の方策について検討 同行しており、植樹に適した場所について ティア団体が参加して、現地で採取した種 情報共有や意見交換を進め、関係者が連 所を中心に、地元住民やボランティアとの 子から成長させた苗木を植樹している。こ

業を実施しており、シカを適正な生息密度 ち健全な木は26パーセントとされている の後のシカの食害によりブナの幼木が枯れ の生態系の回復を目的としたシカの捕獲事 年に行った調査では、山頂付近のブナのう 年の台風被害が非常に大きかったこと、そ な地域である。英彦山のブナ林は、平成3 ①英彦山のブナ林は、県内では最大のブナ 援を行い、ブナ林の再生を図っている。 やボランティアによるブナの植樹活動への支 ていくこととしている。 併せて、地元住民 になるまで減少させ、シカの食害を減らし 現在の県資源活用研究センターが平成14 ていることなどから、回復が進んでいない。 育する生物多様性の保全の観点から重要 林であり、多くの野生の動植物が生息・生 このため、今年度から英彦山・犬ヶ岳地区

⑩そこで知事にお尋ね致します。繁殖の一

県の実情に応じ、支援内容の見直しが行わ については、主たる使途の変更はないが、各 ている。継続している県については、税率や 迎え見直しを行った16県全てが、継続し 県で導入されており、そのうち適用期限を 平成28年4月現在、本県を含む、37府 有する公益的機能の重要性にかんがみ、 ④森林環境税は、水源のかん養等、森林の 適用期間、主たる使途の変更はない。使途

月には、平成29年度の公募事業に応募し れている。この委員会においては、本年6月 された委員会であり、毎年度2回開催さ 確保するため、外部の有識者により構成 内容を県民に明らかにし、その透明性を 綱により、森林環境税による個々の事業の ⑤森林環境税事業評価委員会は、設置要 ただくこととしている。 た実施団体からの企画書の審査を行ってい て評価していただいたところである。来年3 公募事業」等の実施状況やその効果につい に、森林環境税を活用して実施している 荒廃森林再生事業」や 森林づくり活動

の流出により濁水を発生させ、又はその恐 団体が行う森林の保全を目的としたブナ た区域のうち、林地の植生が消滅し、表土 る。また、国定公園内の保安林に指定され 林を再生する活動については、その苗木の は、対象となっていない。しかし、NPO等の 対象となっており、ブナ林などの天然林 なされず荒廃したスギやヒノキの人工林が ⑥荒廃森林再生事業は、長期間手入れが 境整備交付金を活用することが可能と カ防護柵の設置を行う場合、国の自然環 定公園内の生態系を再生するため、県がシ 度に、1ヘクタールの植栽を行っている。 植栽が可能である。これにより、平成7年 れがある箇所には、治山事業によりブナの づくり活動公募事業の助成対象としてい 購入代等を、森林環境税を活用した森林 なお、ブナ林の衰退により損なわれた国

被害を軽減するため、侵入防止から捕

量の減少によって子ジカが越冬できるよう ⑨シカが増えた原因としては、積雪 然に導入することは困難であると考える。 念が払拭されない限りオオカミを再び自 解を示している。県としても、このような懸 ミの再導入を検討する状況にないとの見 き起こされた事例があることから、オオカ 捕食性の外来生物を害獣対策として導入 影響などの懸念があること、過去に国内で ⑧国は、シカの減少効果が定かでないこと、 県が25ある。 人身被害や家畜の被害の発生、感染症の した結果、生態系の攪乱や農業被害が引

> る。さらに、農林業総合試験場において、 や養成が早期に図られるよう支援してい カによる被害額はこの5年間で8千万円減 みについてである。九州5県で構成する九 証を行っている。次に、県境をまたいだ取組 等ICT機器を活用して捕獲するわなの実 誘引物資でシカを誘導し、センサーカメラ とによって、経験の浅い狩猟者の技術向上 増やすため、ベテラン狩猟者が指導するこ をしているところである。また、捕獲数を る。しかしながら、依然として被害額が高 的に行っている。これらの取組みにより、シ 効果的な捕獲対策を検討するとともに、 州シカ広域一斉捕獲推進会議を設置し、 置について、国の補助に県費による上乗せ 伐採後に植栽した苗を守るための柵の設 少して、昨年度は2億4千万円となってい 獲、捕獲獣の有効利用までの対策を一体 本年度も9月と3月の年2回、同じ期間に 額であるため、今年度から新たに、林地の

> > ですので、一般質問ではなかなか良い回答

は引き出せないと思い、会派代表質問で取

組んでいき、被害の防止に努めてまいる。 捕獲を実施することとしている。 今後とも、こうした対策にしつかり取り

> うと思いました。 するかというところにありました。 林環境税の継続と使途の拡大に追求しよ のブナ林再生には活用できませんから、森 ギ・ヒノキ人工林の再生が対象で、英彦山 税の活用です。森林環境税は、荒廃したス 英彦山のブナ林再生のための財源をどう そこで、残り2年となっています森林環境 今回の質問のポイントは、何といっても、 森林環境税は、県民の皆さんからの税金

り上げました。(右記の通り) 将来に渡って森林を適切に保全することが できるよう、森林環境税は11年目以降も このような声を受け、我が会派としては、 の声がある一方で、竹林対策や整備対象 元市町村などから、人口減少傾向にある す。この税による取り組みに関しては、地 成29年度で事業期間10年間が終了しま ねをいたします。森林環境税は、来年の平 **歴続する必要があると考えますが、知事の** 5えをお聞かせください。」 \*林の拡充などの要望の声も聞かれます。 村地域で雇用の機会が増えるなど期待 次に、森林環境税の継続について、お尋

継続した他県の状況や使途の拡大に追究 いる。」と前向きな答弁を引き出しました。 を聞きながら、今後の在り方を検討してま も、市町村などから様々な意見や要望を とが懸念される。また税収の使途について から、今後、新たに、森林の荒廃が進むこ 下落が続くなど、厳しさを増していること になってきたと思います。 し、継続と使途の拡大の流れができるよう 州、関係団体、そして県議会、県民の意見 業を取り巻く情勢については、木材価格の この知事の答弁を受けて、一般質問では、 、ただいている。このため、県としては、市町 知事答弁では、 森林環境税導入後の林

> て検討を行っていくと思います。 関係団体3名、市町村2名、経済界3名、 森林の現状を検証し、今後のあり方につい までの森林環境税による取組状況や本県 般県民2名の12名となっています。これ 委員には、学識経験者2名、農林水産業

【参考】森林環境税の税額等									
	税額(年)	H27税 収(見 込み)	備考						
個人	500円	1,103百円	個人県民税均等 割1,500円 に500円を加 算						
法人	資本金等の 額に応じて 1千円〜4 万円	270百万円	法人県民税均等 割に5%相当額 を加算						

個人
法人

6日に 福岡県森林環境税検討委員会」を 県執行部は、9月定例会閉会後の10月

設置しました。

正な管理に努めていく。

のシカ捕獲事業を実施しており、鳥獣の適

この事業を活用した英彦山・犬ヶ岳地区で

れたところである。本県も、本年度から、 とする指定管理鳥獣捕獲等事業が創設さ シカやイノシシの円滑で迅速な捕獲を可能 いる。この法改正によって、都道府県による 改正し、これまでの 鳥獣の保護」だけでな の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を ると考えている。国は、平成26年に 鳥獣 ていくこと、つまり鳥獣の管理が重要であ

鳥獣の管理」も進めていくこととして

善を図り、自然環境を守るには、積極的に などが挙げられている。崩れた生態系の改 の餌場となる耕作放棄地が拡大したこと になったこと、狩猟者が減少したこと、シカ

人の手で生息数を適正な水準に減少させ



崎町の男性町議は「オオ

方、神崎聡県議は

はないかと私自身はそう思っています。 自然と共生する良きパートナー す。農耕民族の日本人にとって、 オオカミ

ミ再導入の専門家ではありませんので、 もあり、現実的には多くの課題があり 点、オオカミの対処方法をしらない私た り外来種である点、100年前に比べる 針を踏襲した否定的な答弁でした。 一否について知事に質問したところ、 状では難しいように思います。 大きく日本の環境が変わってしまってい オオカミフォーラムが開催されると添田 加えて、規制や法律的にクリアすべき観光客、英彦山の場合、参拝者への影 氏の武貞議員から伺いました。 私はオオ カやイノシシなどの有害獣対策が急務 導入となれば、(遺伝子が同じでも) もしていかなくてはと思っているところ かしながら、オオカミ再導入の議論は 本人。また、地元住民の理解や登山 、他県議会や国への働き

県土整備委員会は、公共用地取得の推進、 道路整備事業、河川 改修及び河川総合開発の促進、海岸・港湾整備事業、急傾斜地の 崩壊防止などについて審査及び調査を行っています。

<u>県土整備委員会では2年間で、県内11カ所あります県土整備事務所の管内視察を行います。今回は、八女県土整備事務所及び南筑後県土整備事務所を訪問しまし</u> た。所管事務概要の説明を受け、その後、地元市町村長から要望をお受けします。視察先は星野川の災害復旧事業や柳川筑後線バイパスの道路改良事業、そして 若津湾の港湾整備事業や宮本大川線の橋梁整備事業でした。



年に1度の管外視察では、青森県及び北海道を訪問しました。青森県では、横内川多目的遊水地を視察。総事業費は158億円の遊水地ということで、青森県総合 学校教育センターの屋上から見学させてもらって、その壮観さに驚いきました。大雨により河川が増水した時には、一時的に220万㎡を溜めることができ、 の住民の安全な生活を支えています。行政サービスの拠点、都市生活のレクリエーション拠点として利用されていて、大変参考になるものでありました。

北海道・函館では、平成28年3月26日に開業した新函館北斗駅の停車場七飯線と、駅周辺の土地区画整備事業区域を視察し、函館港では多目的国際ターミナルと しての取り組みや大型旅客船の寄港としての取組などについて説明を受け、賑わいと親しみあふれる活力ある函館港を目指していました。



主要地方道八女香春線国道昇格 期成会で福岡県県土整備部と国土交





「観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例」が制定されました。福岡県議会議員提案条例検討会議の委員として、取り組んだ成果であります。平成28年 10月5日の9月定例会最終日に可決し、10月11日に公布・施行されました。県の区域を超えた広域的な観光振興を目的とする条例は、全国でも初めてのものです。 この条例は、世界に向けて「観光王国九州」という地域ブランドと、その中で輝く「福岡県」という地域ブランドを確立するという将来ビジョンの実現を目指し ています。九州への誘客を促進することが、その目的地、訪問地としての福岡県への誘客につながるとの戦略の下に、国や九州各県、県内市町村、観光振興団 体、観光事業者など、関係団体が連携し、九州が一体となって観光振興を図っていくために必要となる事項を規定しました。

### 夢は世界へ~未来につなごう福岡の絆~ ルーツは福岡

# 第9回海外福岡県人会世界大会~inメキシコ

海外福岡県人会は、福岡県を故郷に持つ人々が親睦・交流を深め、お互いに助 け合いながら異国で生活していくために組織した団体です。歴史の長い県人会 は、今から100年以上も前に日本政府の移民政策により海外へ移住した方々 によって組織されました。移住した方々やその子孫で組織された県人会は、ハワイを含む北米、中南米を中心に9か国に21地域にあります。

また、近年では、グローバル化が進み、日本企業などの海外進出が増える中、福岡県出身の駐在員などが現地で県人会を結成して活動するケースも出てきま した。アジアや欧州で最近増えてきている県人会の存在は、福岡県の人々が世界各地で活動していることを示すものとも言えます。現在では、世界21の国・ 地域に37の県人会があり、福岡県が国際社会の中で、海外との交流を積極的に行う際に、福岡県とそれぞれの国・地域を繋ぐ懸け橋として、貴重な財産と なっています。

10月12日~19日の日程で、メキシコ訪問団として、大曲昭恵副知事、 中尾正幸県議会議長、松尾統章県議(元議長)、原竹岩海県議(前副議長) と共に、会派代表として派遣されました。大変タイトな強行スケジュー ルの訪問でしたが、すべてのミッションに対して、満足できる結果と、 想像以上の成果があげられました。

メキシコでの海外福岡県人会世界大会は、1906年に、福岡県人がメキ シコに移住して今年で110年となる節目の年での開催でありました。その 節目の年に、 世界大会がメキシコで盛会に開催されることは大変意義深 く、今大会に尽力された関係者の皆さんに感謝と敬意を申し上げます。 海外福岡県人会は、福岡県と世界を結ぶ懸け橋として、国際交流や国際 協力を推進していく上で大変重要な存在であります。今回の世界大会開 催にあたり、2020年オリンピック・パラリンビックキャンプ地誘致活動 も実施し、メキシコオリンピック委員会及びパラリンピック委員会への アプローチに大いに橋渡しで貢献されたことを目の当たりにし、改めて 海外福岡県人会の存在意義の大きさを実感させられました。

福岡県が取り組んでいる移住者の子弟に対する福岡留学の支援事業が 今年で50周年を迎え、次世代の海外県人会の皆さんが県人会活動を引っ 張って頂くことを期待しています。これからも、若い世代を招へい・派 遣し、若者同士の交流を促進し、次世代の育成を進めていかなくてはい けないと思っています。また、政治・経済・教育・医療などあらゆる分 野でグローバル化が急速に進展しており、福岡県から海外へ進出する企 業やビジネス、観光などで渡航する県民も増え、県人会の役割もますま す大きくなってくると思います。日本人が世界各国で活躍し、勤勉さや 誠実さにより、各国の地域社会や経済の発展に貢献し、信頼を得ている ことが私たちの誇りであり、これからも国際貢献していくことが使命で あることを肝に銘じていかなければならないと思います。

世界大会に先立ち先亡者慰霊碑献花式が日墨会館内慰霊碑で行われま した。開会式では、福岡県紹介DVDが上映され、メキシコ・日本両国 の国歌斉唱、先亡者に黙祷を捧げました。主催者側、来賓者の挨拶が続 き、最後は「ふるさと」合唱でした。世界大会歓迎昼餐会では、メキシ コ伝統音楽の演奏などで盛り上がり、その他青年の集いや代表者会議、 さよなら晩餐会が催されました。

日墨協会内でメキシコ移住資料館オープンセレモニーがあり、これま での貴重な資料やテープなど数多くの遺品が展示されています。

ロサンゼルスでは南加福岡県人会との意見交換会がありました。南加 福岡県人会は最大の県人会であり、400名を超える組織であります。様々 な部会で活発な活動をされています。過去の南加県人会の県費留学生総 数は22名です。

# /コオリンピック委員会訪問

2020年東京オンリンピック・パラリンピックの福岡県でのキャンプ地 誘致活動で、大曲副知事から本県の魅力やキャンプ地要件などを説明 し、併せて福岡プロモーションビデオを上映しました。会長から来年1月 に来日し来福の約束を取り付けるという大きな成果を出すことができま 現在、我が福岡県は、2020年に開催される東京オリンピック・ パラリンピックに向けたキャンプ地誘致に取り組んでいます。福岡県 は、人口、経済規模や自然環境、都市機能、食、文化、観光など、どれ をとっても日本屈指の県であります。

また、福岡県は、利便性の高い交通ネットワークが整備されていま す。オリンピック・パラリンピックが開催される東京まで飛行機で90分 の距離であり、時差もなく、気候もほぼ東京と変わらないため、選手に とって最も重要なコンディショニングづくりに最適な場所です。

さらに、福岡県は、大変スポーツが盛んです。野球、サッカー、バス ケットなど多くのプロスポーツチームが福岡県に本拠地を置いてしま す。また、国際車いすテニス大会や国際マラソンの実績も豊富です。

県内には、国際基準を満たす多くのスポーツ施設があり、2008年の北 京オリンピックの際には、スウェーデンやオランダ、ロシアが福岡県で キャンプを行うなど、オリンピックに向けた事前キャンプの受け入れ実 績も豊富です。2020年の東京オリンピックについても、スウェーデン、 ノルウェーと事前キャンプに係わる基本合意を交わしています。



メキシコオリンピック委員会のカルロス・パディージャ会長 (写真左下)、パラリンピック会長(写真右下)や各種種目協 議委員会委員長との意見交換と要望活動を行ってきました。



暴力団組織~太州会 平成28年10月末現在 認定組織数 20団体 (内管内12団体) 構成員数130人(内管内構成員数94人)

· H27~130件52人(内覚醒剤等28人) · H28(10月末)~93件46人(内覚醒剤等 で27人)

毎月15日を「暴追の日」に設定し、各

県警本部と連携し、毎年、管内26校

各自治体の暴迫大会の共催又は後援

種街頭キャンペーンの実施

(中学校20、高校6) で実施

暴力団排除教育の推進

神幸祭からの暴力団排除

暴追大会の実施

1 暴力団対策

□管内情勢

検挙状況

暴力団排除活動 暴追の日の設定

### 署管内情勢



- 交通事故防止対策
- □飲酒運転撲滅対策
- 検挙状況
- ·H27~47件
- · H28(10月末)~39件
- イ「飲酒運転特別取締り班」による特別取締りの実施
- □交通安全教育の実施
- ア 高齢者交通事故防止対策~民生委員、消防団等との協働による高齢者宅戸別訪問
- 幼稚園、小・中学校への出前型交通安全講習の実施
- □筑豊地区交通事故抑止プロジェクト (Chikuhou Traffic Project) の継続展開

交通機動隊筑豊地区隊及び筑豊地区4警察署による、署境を越えた取締り及び警戒活動を展開

### 現状の治安情勢(田川警察署管内)

	刑法犯認知件数		少年事件検挙件数		交通事故発生件 数	
		前年比		前年比		前年比
H27	1319	-303	109	+15	1040	+8
H28(10月末)	960	-150	75	-21	763	-117

域決起会議(筑豐地区力間通数総決起大会

- 3 犯罪の起きにくい社会づくり対策
- □街頭犯罪等抑止対策
  - 防犯キャンペーンの実施~企業、地域住民との 連携
  - 防犯カメラの増設への働きかけ H27~伊田町飲食店街に12台設置 H28~石炭記念公園に1箇所3台、福智町赤池 総合グラウンドに1箇所2台設置

※ 田川市防犯協会連合会の事業を活用し、 福智町・糸田町・香春町が設置検討中

□子ども・女性を守る対策

- 県立大学周辺の環境整備
  - 防犯カメラ、防犯灯の設置、近隣住民の協力を得て県大生110番の家の設置
- 学校との連携強化
- 管内の全高校とSDE推進校の協定を締結し、高い防犯意識の育成と被害防止活動の推進 □ニセ電話詐欺防止対策
- 管内金融機関に対し高齢者に対する詐欺被害防止の呼びかけを依頼
- 毎月、新聞折込、自治体広報誌を活用し、詐欺被害防止の啓発活動を実施
- 年金支給日等における防犯キャンペーンの実施

# 香春町合併60周年

香春町誕生60周年を心からお慶び申し上げます。昭和31年に旧香春町、採銅所村、勾金村の3町村が合併 して60周年の節目を迎え、11月3日に合併60周年記念式典が開催されました。石炭産業の消滅・セメント 産業の縮小など、幾多の試練を乗り越えて、新しい時代を切り拓き、発展に貢献されてきた先人の皆さんや歴代

町長・議会そしてすべての町民の皆さんに心から敬意を表します。







貴乃花部屋九州場所激励会



上津野収穫祭



地区公民館球技大会



田川郡身体障害者体育大会



岳陽同窓会



川崎町ふくしまつり



本彦山男魂祭



田川商工会議所女性会



飯塚駐屯地創立五十周年記念式典



文化財保護等現地視察



権理祭り



福岡県立大学秋興祭







ふるさと香春秋まつり



MOA美術館田川児童作品展

福岡県果樹振興議員連盟 (事務局長) の現地視察で す。今年はアジアを視野に 入れた九州の青果物流拠点、 市場ブランドの発信基地をめ ざしている福岡市中央卸売市 場青果市場(ベジフルスタジ

アム)を訪問しました。建設費約199 億円(うち国交付金約67億円)、用地 費164億円(面積約50,000㎡)、計画 取扱高は年間30万トン。見学した感想 は、とにかく機能的な施設配置になっ ている点。取引形態に合わせて施設を

区分している点。効率性や安全性を考慮したコンパクトな施設でした。まさに日本 -のベジタブル・フルーツのスタジアムでありました。





11月16日、福岡県防衛議員 連盟視察研修で、陸上自衛隊飯 塚駐屯地を訪問しました。

ブリーフィングで駐屯地の概要 や活動の説明を受け、広報資料 館見学・主要装備である「中 SAM機材概要説明」「掘削機及 びトンネル壕研修」「RCAT概要 説明」「無人偵察機概要説明」 を受けました。飯塚駐屯地は50 周年を迎え、10月1日に記念 式典が行われましたが、観閲式 ではわからない詳しい内容で、 大変勉強になりました。

福岡県タイ友好 議員連盟の副 会長として、

ジンコク都議会友好訪問団を歓迎しました。医療・福祉分野 や観光、或いは防災・減災など、幅広く意見交換しました。



### 福岡県立田川科学技術高等学校

# <福岡県立田川科学技術高等学校への土木に関する教育の取り入れについて>

び、友情を大 友と心と力を が、る親した いち未「も、来大 率 先 し も体験的に 「実 ものにチャースのにチャースのにチャースのにチャースを で学校 大術生<sup>ル</sup> を 4 大 行び全 み 合 の友 屻 としてい ンとと ジレ希 勲自 にせ 心を持 6 す す 共 す るに 断何立 を ಠ್ಠ ち ΰ 事 し持 訓

経緯: 平成27年8月、田川農林高校鎮西同窓会、田川科学技術高校同窓会から「土木建築技術の取得」等の 要望が行われました。これを受けまして、田川科学技術高校では、生徒の進路拡大・学校の活性化の観点か ら、土木に関する教育内容の取り入れについて検討を行いました。平成28年6月に田川地区市町村の首長・議 会から「土木に関する科目を加え、土木人材の育成を図ること」の要望書が県教委に提出されたところで

県教委としては、平成29年度入学生から、システム科学技術科(建築・環境創造専攻)において、「土 木」に関する教育内容を選択して学ぶことができるようにします。(田川科学技術高校においては、これを 「土木コース」と呼称予定)

<参考>専門高校においては、学科内である程度まとまった内容を学習する場合、中学生などに分かりやす いように「専攻」や「コース」という名称を用いる場合が多いようです。これは、普通科における「理系」 や「文系」といった類型に相当するものです。

「土木」を選択する生徒数及び就職先の見込みとしては、システム科学技術科の定員80人のうち、建築・環境創造専攻を希望する生徒は例年20人程度 で、このうち、「土木」に関する教育内容(土木コース)を選択する生徒は5・6人程度と想定しています。これらの生徒の就職先としては、市町村役場の 土木技師や土木の関係企業等を想定しており、特に市町村での採用については本件に係る要望を提出した田川地区の市町村から配慮する旨の申し出がなされ ています。

県教委と協議し、確認したところ、土木の専門教育については、「土木施工管理技術認定2級」の学科試験合格を目標として、どの程度の教育内容(科 目)を取り入れていくか今後検討していく予定ということです。必要な教員の配置や教材等の整備については、新たに取り入れる科目等に応じて定まること となりますが、過重なコストが発生しないよう対応していくようにしていきたいとの回答でした。

学科や入学定員を別に設ける学科を設置するに当たっては、入学定員を満たすだけの継続的かつ安定的な入学者数及び卒業後の進路確保が見込まれること が前提に、県下全体の学科等の配置状況などを勘案の上、検討を進める必要があります。今後、生徒数の減少傾向が続く中、仮に学科等の新設を行う際に は、既存の学科を廃止することも視野に入れる必要もあり、現状において新たな学科を増やすことは難しく、入学した生徒にコースを選択させることになり ました



創立90周年、 定時制移管60周年記念式典(10月29日)が挙行されました。大正15年に田川郡立鷹羽学館が県に移管さ 』れ、福岡県立田川実業女学校として発足しました。創立68年目となる平成6年に県内初の総合選択制高校、県立東鷹高等学校

9月30日

10月1日

10月1日

10月1日

11月7~9日

11月10日

権現祭り

11月11日 12月代表質問調查活動

■平成28年10月



底力を養う」の下、社会に貢献でき る人材を育成し、24,000有余名の若 者を輩出してこられました。卒業生 は、地域社会の発展に寄与するとと もに、幅広い分野において国内外で 活躍されています。

川崎町ふくし祭り 上田川ライオンズクラブ

福岡県立大学第25回秋興祭

11月12日

11月12日

### 略歷

昭和53年 添田町立添田中学校卒業 昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業卒業 昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業 昭和60年 麻生セメント株式会社入社 平成 2年 株式会社麻生情報システム転籍(分社化) 平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役 平成13年 株式会社麻生情報システム 取締役 平成23年 福岡県議選(田川郡区) 初当選 平成27年 福岡県議選(田川郡区) 2期目の再選

福岡県議会での主な所属 緑友会福岡県議団 副会長 幕及云福岡朱藤図 副云文 福岡議会運営委員会 理事兼委員 県議会条例提案検討委員会 委員 宋國公太仍近宋禄日安員会 安 県議会広報紙編集委員会 委員 県土整備常任委員会 委員 住・ひと・しごと創生調査特別委員会 委員 平成27-28年度予算特別委員会 理事兼委員 福岡県河川協会 参与 福岡県文化議員連盟 副会長 福岡県冬人に紹介成長 前五兵 福岡県果樹嶽県議員連盟 副会長 福岡県泰林・林東・林産業活性化促進議連 会計幹事 福岡県日韓友好議員連盟 福岡県日中 左好議員連盟 福岡県国際交流推進議員連盟 福岡県ベトナム友好議員連盟 福岡県日台友好議員連盟 福岡県防衛業品連盟 過疎地域活性化対策福岡県議員連盟 産炭地域活性化対策福岡県議員連盟 オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 スイベル国家活動促進信間未施 福岡県観光産業振興議員連盟 福岡県スポーツ議員連盟 九州・沖縄未来創造会議 九州の自立を考える会 福岡県農政連 全体委員 日本会議福岡支部 幹事

田川直方パイパス延伸推進期成会 顧問

## こうざき聡事務所 〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417 TEL:0947-41-3880 FAX:0947-41-3881 こうざき聡 こうざきさとし 検索

9月27日

9月27日

9月28日

9月29日

■平成28年9月 9月1~2日 県土整備委員会視察(八女・南筑後) 9月3日 県営住宅に関する調査活動 道路行政に関する調査活動 9月4日 県土整備事務所・飯塚農林事務所 9月6日 県スポーツ議連 議会運営委員会・議会広報紙編集会議 9月7日 観光・医療に関する調査活動 9月8日 パンコク都議会友好訪問団議長表敬訪問 9月8日 9月9日 藏内謙氏(福岡6区)事務所 9月10日 県立高校体育大会(田川・東鷹) 「取り戻そう街と川の清らか」講演 9月10日 9月11日 福建労筑豊支部結成大会 地域振興に関する調査活動 9月12日 9月13日 政策審議会・議会運営委員会 9月14日~10月5日 県議会9月定例会 福岡県文化議員連盟役員会 9月14日 福岡県果樹振興議員連盟役員会 9月14日 9月14日 筑豊地区商工会と関係県職との懇談会 9月15日 農林業に関する調査活動 教育に関する調査活動 9月16日 9月17~18日 敬老会 9月20日 福智町役場要望活動 9月20日 有害鳥獣対策に関する調査活動 防災情報に関する調査活動 9月20日 9月21・23日 代表質問 9月21日 福岡県文化議連講演会 9月23日 福岡県タイ友好議員連盟役員会 9月24日 第59回福岡県民体育大会秋季大会 平成28年度住宅防火防災推進シンポジウム 9月24日 9月25日 赤池福祉会四保育所合同の体育の集い 麻生OB会総会 9月25日 9月26~28日 一般質問(神崎聡) 9月26日 議会運営委員会小委員会 議員提案政策条例検討会議 9月26日 9月27日 議会運営委員会

福岡県林活議連役員会

常任委員会

「Aグループ福岡からの要望

公民館対抗ソフトボール大会 県立田川高等学校改築設計打ち合わせ 10月2日 10月3日 佐々木徹第78代福岡県議会副議長祝賀 10月4日 議員提案政策条例検討会議 10月5日 10月5日 観光DMO推進会議 10月6日 福岡県里樹振麒議昌連盟現地視客 県立高校体育大会(田川科学技術) 10月8日 10月8~9日 緑友会福岡県議団(うきは市) 10月11日 衆院補選福岡6区告示日(久留米市) 10月12~19日 第9回海外福岡県人会世界大会 2020年オリンピック・ハ ラリンピックキャンプ 地誘致 (メキシコ) へいちくフェスタ2016福智スイーツ大茶会 10月22日 10月22日 添田ふる里まつり **県立田川高校岳陽同窓会総会** 10月22日 10月22日 衆院補選福岡6区(久留米市) 10月23日 「日・米・独オオカミフォ 議会広報紙編集会議、議員総会 10月24日 10月25日~ 11月4日 県議会決算特別委員会 主要地方道八女香春線要望活動 10月25日 10月25日 田川地区進出企業協議会総会 10月29日 県立東鷹高等学校90周年記念式典 10月30日 第52回田川郡身体障害者体育大会 10月31日 議会広報紙編集会議 貴乃花部屋激励会 10月31日 ■平成28年11月 11月2日 上田川ライオンズクラブ例会 11月3日 香春町合併60周年記念式典 11月3日 上津野収穫祭 田川高校創立100周年記念実行委員会 11月4日 11月5~6日 文化財保護等現地視察 11月6日 田川商工会議所女性会創立50周年式典

**県土整備常任委員会管外視察** 

議員総会、政策審議会

第11回豊徳祭

飯塚駐屯地創立五十周年記念式典

藏内謙 氏の集い (久留米市)

11月12日 第41回赤村文化祭 11月12日 第95回鎮西同窓会 ふるさと香春秋まつり&農業まつり 11月13日 11月13日 英彦山男魂祭 MOA美術館田川児童作品展表彰式 11月13日 バイオマス発電に関する調査活動 11月15日 田川高校改築会議 (県建築都市部) 11月15日 11月16日 福岡県防衛議連視察研修 11月16日 上田川ライオンズクラブ例会 11月17~18日 九州各県議会行事 11月18日 魚楽園ライトアッフ 田川県土整備事務所 11月22日 11月24日 議会運営委員会・議会広報紙編集会議 議員総会・政策審議会 11月24日 無人航空機関連産業に関する調査活動 11月25日 11月26日 添田町総合文化祭 11月28日 田川地区暴力団等追放総決起大会 11月28日 田川高校創立100周年記念実行委員会 安全安心特別警戒出動式 11月30日 県立田川高等学校改築設計会議 11月30日 ■平成28年12月(12月は予定を含んでいます) 12月1~20日 県議会12月定例会 九州自立の会第11回広域行政セミナー 12月1日 12月2日 無人航空機関連産業に関する調査活動 12月7~8日 代表質問 12月7日 福岡県文化議連役員会 J.I.S.R.L.e-ASIA2016 共同国際会議 オイスカ国際活動促進福岡県議会議連 12月7日 12月8日 県文化議連役員会・タイ友好議連役員会 12月8日 福岡県台湾友好議員連盟意見交換会 12月9日 12月9~13日 一般質問(神崎聡) 12月11日 添田フレンズ20周年記念式典 大家敏志参議院議員政経フォー 12月11日 福岡県森林・林業・林産業議連役員会 12月12日 12月14~16日 常任委員会、議員条例検討会議 12月15日 JA県青協意見交換会 12月19日 県道英彦山香春線道路建設説明会 12月21~22日 住・ひと・しごと創生別委員会視察

中尾正幸第66代福岡県議会議長祝賀会